



大内中だより

きつきの丘

【学校教育目標】
「あいさつ日本一を目指して」

令和5年6月2日 第9号

「人はなぜスポーツをするのか」～地区総体に向けて～

地区総体に向けた部活動強調週間（～6月14日）に入りました。大内中学校からは83名の生徒が参加を予定しています。大会を2週間後に控えた今、自分（選手、部員として）ができることは何でしょうか。まずは原点に立ち戻り、自分がその競技を始めた、あるいは続けているきっかけや理由を振り返ってみてはどうでしょうか。

ここでは、さらに掘り下げて「人はなぜスポーツをするのか」を考えてみたいと思います。



このように、スポーツは、体を動かすという人間の本能的な欲求に応えるとともに、爽快感や達成感、他者との連帯感等による楽しさや喜びをもたらす、さらには、体力の向上や、ストレスの発散など、心身の両面にわたる健康の保持増進に役立っていることとなります。そして、スポーツは、そもそも「遊び」という本質をもっているのです。この「遊び」は、真剣であればあるほど楽しいものになると考えます。

話を戻します。自分が、その競技を始めた、あるいは続けているきっかけや理由は何でしたか。ご家庭の誰かがやっていて何となく始めた人、大人や友達に勧められた人、テレビ等の映像を見て憧れや夢を抱いて始めた人など、それぞれ違うと思います。そして続けてきた（続けることができた）理由には、多くの人に関わっているはずで、これまでみなさんを支え続けてくれた人への感謝を胸に刻み、総体を迎えてほしいと願います。

3年生にとっては中学校最後、いや人生で最後の地区総体です。自分の役割を自覚し、自分自身のため、そしてチームのために全力を尽くしてください。そして、仲間と認め合い励まし合った一体感、目標達成に向けて頑張り続けた充実感を存分に味わってほしいと思います。

